

様式 4

平成 27 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立鳥取湖陵高等学校  
校長 谷 輝 久

評 価 日	平成 28 年 2 月 16 日 (火)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
<p><b>1. 今年度の自己評価について</b></p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>○学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の立場としても基礎学力の向上を要望。</li> <li>・普通教科と専門教科がリンクして、基礎学力の向上に繋がる事を期待。</li> <li>・学習時間以外に学習に対する尺度はないか。生徒一人一人、尺度は異なるのではないか。</li> <li>・生徒に対しては、目標の実現に向け細かなステップを示しながら指導する事が望まれる。</li> </ul> <p>○ICT 教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した取り組みである。iPad の活用については様々な可能性があり、今後に期待する。</li> <li>・活用する事で、どのような力が生徒に付くのか今後検証が必要。</li> <li>・ICT 活用能力の向上も大切だが、コミュニケーション能力の向上も大切。それにより、ICT 活用能力がより生きてくる。</li> <li>・ICT 活用においては、利用するだけではなく質的な検証が必要。</li> </ul> <p>○生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導の成果が現れている。ただし、型にはめた指導だけでは限界がある。生徒自身がその必要性を自覚するような指導が今後必要。</li> </ul> <p>(2) 説明・公表について 予定どおり公表</p> <p><b>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</b></p> <p>○鳥取湖陵らしい多くの専門性のある事業を実施している。</p> <p><b>3. 取組改善のための提言</b></p> <p>○来年度予定されている湖陵フェスタは、鳥取湖陵の魅力を発信する事業として期待。</p> <p>○鳥取湖陵の情報について、地域や中学校に十分発信されていない面があるので、一層の情報発信に努めて欲しい。また、今後公民館との連携も要望。</p> <p>○企業の求める生徒像を生徒に理解させるために、県内企業と学校の連携の推進を要望。</p> <p>○生徒の指導においては、教員から生徒へ投げかけ、それに対する生徒自信の振り返りが必要。生徒自身が振り返る事で次の成功に繋がる。</p> <p>○鳥取湖陵を卒業して良かった、させて良かったと言えるような学校づくりを要望。</p>		<p>○本校が進める協同学習の視点に沿った、生徒の学びが深まるような授業改善に取り組む。</p> <p>○iPad を利用するだけではなく、利用する事で生徒のどのような力を付ける必要があるのか、そのためにはどのような活用方法があるのか研究し、具体的な指標により検証していくような研究を進める。</p> <p>○ホームページの充実、湖陵フェスタを成功させ、本校の情報発信に努める。</p> <p>○産業教育振興会における連携の推進、ネットワーク会議における連携を充実させる。</p>